

06 知識・技能を身に付ける

取組事例

29

地域の産業「林業」を楽しく学ぶ

～ 「林業」は「森のヒーロー」 ～

熊野市立飛鳥小学校 3年生～6年生



林業機械の操縦体験

実施時期	令和7年11月
実施場所	教室、晃榮林業会社倉庫前広場
時間	3時限（45分×3）
対象・人数	小学3～6年生 17人
講師	晃榮林業株式会社 職員 3名 大学生アルバイト 4名
備考	学校独自事業

めざす姿

06 知識・技能を身に付ける

（01 遊び・楽しむ、03 興味関心を持つ、08 地域の課題に目を向ける）

ねらい

地域の産業である林業について興味を持ってもらい、理解を深める。

内容

総合的な学習の1単元として、地域の産業である林業について学習するとともに、実際の作業に関わる体験を通じて興味を持ってもらい、林業への理解（キャリア教育）を深める。

- ・座学による学習（1時限）
- ・丸太切りや重機の操縦体験学習（2時限）

学習指導要領との関連

森林を保全する仕事（林業）（小学5年生社会科）

地域の生産活動（小学3年生社会）、自然環境と地場産業（小学4年生社会）、森林資源のはたらき・森林と人々の暮らし・森林資源と木材生産・自然災害と森林整備（小学5年生社会科）、水の作用（土砂運搬）（小学5年生理科）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）、勤労の尊さ・生産の喜び（小学生特別活動）

準備物

重機（プロセッサ、グラブ）、子供用ヘルメット（みえ森づくりサポートセンター貸与）、林業用装備（チェーンソー等）、丸太

参加者の反応

- ・機械の操作が難しかったけど、上手く出来て楽しかった。
- ・面白い！もっとやりたい。

学校のコメント

- ・座学では、クイズ形式にしたり、動画を取り入れたりしてくださったので、子どもたちも興味をもってとりくめた。
- ・屋外での丸太切りや、重機の操縦体験は、どの児童も楽しく必死になってとりくんでいた。座学とともにさまざまな体験もできたので、子どもたちの理解も一層深まったように感じる。

次ページに詳しい取組の内容を掲載

ストーリー仕立てで林業を紹介
「森のヒーロー」に子どもたちも興味津々

知る



りんぎょうって
どんなしごと?



山で働いてみたんだけど...

林業の装備を実際に、触れたり、持ち上げたりできるように展示・紹介。

体験する



林業の装備の着用体験。

体験する

かっこいいかも



まずは、プロの操縦を見学。

知る



実際に重機の操縦を体験。

体験する

難しい！
けど、楽しい！



丸太切り体験。
林業機械のすごさを体感。

体験する

めっちゃ
疲れる

